

志波城跡(盛岡市)

しわじょうあと

ここが志波城跡/志波城古代公園として復元整備されている



城柵とは、奈良時代から平安時代にかけて、当時エミシ(毛人/蝦夷)と呼ばれていた東北地方の人々を朝廷が統治するために設置された行政府(役所) [\(クリックしてビデオを見る\)](#)

国史跡 志波城跡・志波城古代公園にようこそ

志波城古代公園は、今から1200年前の平安時代に、坂上田村麻呂によってつくられた古代城柵「志波城」を発掘調査の成果をもとに復元整備した歴史公園です。いにしえから吹く風を感じながら、ご自由に散策ください。



正面は外郭の南門と築地塀/その手前の窪みは外大溝



その左手を見たところ



様々な説明板があった



志波城古代公園

いにしへの風にあう 志波城へようこそ

外郭域

がいかくいき

外郭東辺・西辺に築地塀や外大溝の位置を表示した広場があります。

高速道路西側の外郭西辺広場では、築地塀と外大溝の位置を表示。外郭東辺広場では築地外溝を表示し、解説板で解説しています。

外郭北辺には、洪水の跡や城内に取り込んだ旧河道の痕跡が、段差となって今も残っています。



外郭東辺広場



北辺部、洪水の痕跡



南東から見た志波城跡全景(2011年撮影)

政庁・官衙域

せいちょう・くわんがいき

政庁：政庁南門、東西門、築地塀など復元。建物の位置は芝生や柱で表示してあります。

官衙建物：役人たちが実務を行っていた建物を復元。内部に政庁官衙の役割や復元整備について、ビデオやパネルを展示しています。官衙展示室見学の際は案内所へ。



政庁南門

官衙建物・内部展示室

案内所

あんないじょ

園内見学前にぜひ展示室をご覧ください。

本格歴史ドキュメンタリー「志波城物語」、アニメ「平安少年しわまるくん」の映像や解説パネル、出土資料などを展示しています。

トイレ、休憩などにご利用いただけます。

見学案内などもこちらでうけたまわります。

- ・ 9:00～17:00
- ・ 入場無料
- ・ 年末年始休館



しわまるくん

園内見学案内・官衙建物展示室見学は無料です。古代公園案内所スタッフにお声かけください。

【お問い合わせ】

- ・ 案内所 TEL019-658-1710
- ・ 盛岡市教育委員会歴史文化課 TEL019-651-4111

竪穴建物

たてあなたてもの

城内に1200～2200棟あったと考えられる鎮兵たちの兵舎竪穴建物のうちの3棟を復元整備しました。

1棟は構造を理解できるように骨組み、2棟は屋根をふき内部にカマドなども復元。

当時の暮らしを体感できます。



征夷大將軍坂上田村麻呂は802年に胆沢城(奥州市)を築いた後、803年には陸奥国最北端の志波城(盛岡市)を築く/外郭と政庁の規模は、鎮守府胆沢城を上回り、国府多賀城に匹敵する大きなもので、陸奥国最北端の行政府として、またさらに北方のエミシに対する拠点として、志波城の役割が大変重要であったことを示している

城柵と蝦夷 (エミシ)

奈良・平安時代、東北地方は律令国家の外にあり、人々は都人から蝦夷と呼ばれていました。

政府は東北地方も天皇を中心とした国の範囲に治めようと、「城柵」という役所を各地につくり、蝦夷を歓待する儀式を行い、位や禄物を与え勢力を北上させました。

国の範囲に入った地は、郡という行政区画ごとに統治されました。9世紀はじめころ、今の盛岡周辺までがその範囲に入りました。

蝦夷たちは城柵に登用され役人になったものもいましたが、国に反対する蝦夷の村もあり、志波城造営以前に長い戦乱の時代もありました。

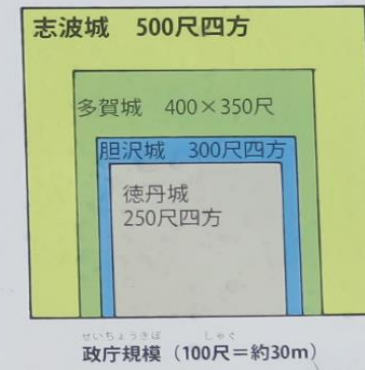
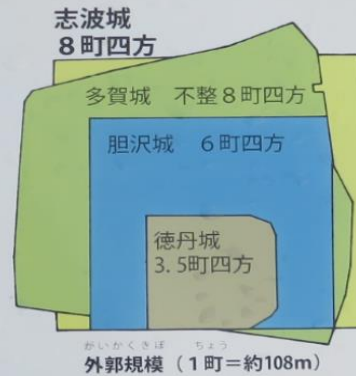


志波城の位置と規模

志波城は陸奥国の最北端に造営され、陸奥国府多賀城(今の宮城県多賀城市にあった東北の東半分のみとめる役所)に匹敵する最大規模の城柵でした。

城柵には儀式を行う政庁、役人が仕事を行う官衙建物が建てられ、行政と軍事の拠点であるとともに、蝦夷をもてなす儀式の場でした。

志波城の政庁規模は、国府よりも大きなものでした。



志波城の発掘調査



1976年頃の発掘調査



外郭南辺 築地塀跡と櫓跡



政庁南門の発掘調査



政庁西辺南部築地線の発掘調査



南東官衙域の建物の柱跡



出土土器



出土鉄製品

志波城のあるこの場所は、1970年代まで字名から「太田方八丁遺跡」と呼ばれていました。

古くは江戸時代から、前九年合戦（1051～62年）の源氏の陣場跡と言いつたわれています。

1976年から東北縦貫自動車道建設にともなう発掘調査がされ、築地塀跡や多数の竪穴建物などが見つかり、それまで所在不明だった

803年造営の古代城柵「志波城」の跡ではないかと言われました。その後の調査で政庁や外郭南門などを検出し、1984年に志波城跡として国の史跡指定を受けました。

これまでの調査と研究の結果、古代城柵としての共通性と、志波城の独自性が明らかになりました。

志波城の保存整備



築地塀は耐久性を調べる試験施工をしました。



築地塀は版築技法（土を仮枠に入れ突き固める）で復元。



木材加工は当時から道具や技術で施工しました。宮大工によるヤリガンナとヨキを使った加工の様子。



重い築地塀で遺構をつぶさないように、基礎に発泡スチロールの軽量盛土材を敷き詰めました。



竪穴建物復元にあたっては、1/20模型で構造を検討。施工時には各工程で市民体験会を開催しました。



東北の古代史を語る上で欠かせない志波城跡を、未来へ継承し、多くの方に理解を深めてもらう貴重な歴史文化遺産として、盛岡市では保存整備を実施しています。

志波城の特徴として、大規模造営・軍事的機能・行政的機能・居住機能の4つのテーマを整備することとし、計画をつくりました。

現地に復元することも含め、志波城の特徴をわかりやすく表現するため、外郭南辺部・東西辺部、政庁・官衙域、外郭南辺竪穴建物、ガイダンス施設（案内所）の整備を行いました。復元にあたっては、発掘調査成果、古建築、絵画などから、当時の姿を検討・設計し、地下遺構を守りつつ、当時の建築技法にならって整備しました。

説明板/東北経営と蝦夷政策の拠点としての城柵であったと記されている

国指定史跡

志波城跡

志波城跡は、今から約1200年前の平安時代、桓武天皇の命を受けた坂上田村麻呂によって造営された東北経営と蝦夷政策の拠点である城柵跡です。

城柵とは、奈良～平安時代の政府が、東北地方を治めるために設置した行政府(役所)です。その頃の東北北部は国の範囲の外で、人々は蝦夷と呼ばれていました。

志波城は、東北地方に20数カ所つくられた城柵のうち、陸奥国の最北に最大級の規模で造営されました。

しかし設置後約10年で、北を流れる雫石川の洪水被害を理由に、文室綿麻呂によって、約10km南の徳丹城(現・矢巾町)に機能を移転しました。



志波城跡全景写真 (2003年撮影)

国史跡指定 1984年9月14日
指定面積 635,977.64㎡
遺跡面積 約750,000㎡

遺跡の年代	平安時代初頭 延暦22(803)年から弘仁2(811)年頃
造 営	造志波城使 坂上田村麻呂
政 庁	儀式や宴会等を催す正殿脇殿など 150m四方を囲む基底幅1.8mの築地堀 政庁南門、政庁北門は八脚門 政庁東門、政庁西門は棟門
正 殿	掘立柱建物 桁行18m梁行9m 身舎五間二間 廻縁六間三間
東・西脇殿	掘立柱建物 五間二間
官 衙	役所の実務を行う建物群 政庁の南東・南西・東の掘立柱建物群
望 楼	三間二間総柱 南大路を挟んで2棟
竪穴建物域	外郭沿い 1200~2200棟の鎮兵兵舎等
外 郭	840m四方を囲む基底幅2.4mの築地堀 928m四方を囲む幅約5mの外大溝 南と東に築地線から108mに一町溝
外郭南門	外郭中央に五間一戸の櫓門
櫓	約60m間隔で築地をまたぐ二間一間の櫓



こちらにも様々な説明板がある

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



「外郭南門/朝貢する蝦夷」の絵図と説明板



劣化していて下段は読めない

外郭南門

外郭築地塀の中央の南門は、壮大な五間の正門で、当時の朝廷の権力を象徴する建物でした。

南門は、築地塀にならぶ櫓の機能（物見・狙撃）を兼ね備えた櫓門です。

朝貢する蝦夷

上の絵図は、外郭南門の上や周囲から衛兵や役人が見守る中、蝦夷が朝貢のため外郭南門を通り、城内に入る様子です。蝦夷の長は馬にまたがり、その後には金・漆・魚介類や漆・金・馬など、この地方の多くの特産品をたずさえて



「外郭築地塀・櫓/築地塀・櫓を造る兵士」の絵図と説明板



こちら劣化している/何とかならないものか・・・

外郭築地塀・櫓

築地塀は、土を層状につき固める築築という、
でつくられた土塀です。櫓は外郭築地塀上に約60m
間隔でつくられた6本柱の建物です。ともに、城内を
守るための施設です。



築地塀・櫓を造る兵士

上の絵図は、志波城の築地塀と櫓を造っている様子
です。周囲を警護する兵士の中、築地塀の木枠に塀の
内外から掘り出した土を入れ、木の棒でつき固めてい
ます。また、その隣では、築地塀の屋根や櫓の造作が
おこなわれています。



築地塀の版築つき固め作業



櫓の加工





造営後約10年で、雫石川の水害を理由に、その役割を徳丹城に移した

志波城関連年表

時代	西暦	和 暦	主 な で き ごと
奈良時代	645	大化 1	大化の改新。
	701	大宝 1	大宝律令を施行する。
	710	和銅 3 3月	平城京(奈良)に都をうつす。
	715	靈龜 1	郷里制を施行する。
	721	養老 5	この頃、多賀城をつくる。
	757	天平宝字 1	養老律令を施行する。
	776	宝龜 7 11月	陸奥の軍が胆沢の蝦夷をせめる。
	780	宝龜 11 3月	伊治公背麻呂が多賀城を焼く。
	784	延暦 3 11月	長岡京(京都)に都をうつす。
	789	延暦 8 6月	蝦夷の長、阿弖流為たちのいる、巢伏村をせめる。
平安時代			6月 征東将軍が胆沢の地を大群でせめる。
	790	延暦 9 2月	再び、胆沢・斯波の蝦夷をせめる。
	794	延暦 13 6月	副将軍坂上田村麻呂が蝦夷に大勝する。
			10月 平安京(京都)に都をうつす。
	801	延暦 20 9月	征夷大将軍坂上田村麻呂が蝦夷をせめる。
	802	延暦 21 正月	坂上田村麻呂が胆沢城をつくる。
		4月 阿弖流為・母礼たちが降伏する。	

平安時代	803	延暦 22 2月	志波城所へ、越国から米と塩を送らせる。
			3月 造志波城使に坂上田村麻呂が任命される。
	805	延暦 24 12月	藤原諸嗣の意見により、社会を弱体化させた軍事(対蝦夷強硬策)と造作(平安京造営)をやめる。
	811	弘仁 2 正月	和我、禊縫、斯波の3郡をおく。
			2月 陸奥と出羽両国の兵で、爾薩体と幣伊の2村をせめる。
			閏12月 征夷大将軍文室綿麻呂の進言により、鎮兵を廃止して、城柵の守衛1000人を置く。
			志波城は、川に近く水害を受けるので別の地に移し、移転まで2000人を置き、以後は1000人をとどめ、他の兵は解任することとする。
	812	弘仁 3	この頃、徳丹城をつくる。
	815	弘仁 6 8月	鎮兵1000人(胆沢城、徳丹城各500人)を廃止する。
	858	天安 2	藤原良房が摂政となる(摂関政治の開始)。
878	元慶 2 3月	蝦夷が秋田城下を焼く(元慶の乱)。	
1051	永承 6	奥州十二年合戦(前九年の役)がおこる。	
1086	応徳 3	白河上皇により院政がはじまる。	
1095	嘉保 2	藤原清衡、平泉を本拠地とする。	



南上空から見た志波城跡（1997年撮影）

保存整備について

志波城跡の保存整備は、地下の遺構を保護しながら進めました。

復元にあたっては、発掘調査による成果をもとに、当時の姿をより深く理解できるように、古建築や絵巻物から工法や材料・道具などの検討を繰り返し、立体的におこないました。



築地堀跡・櫓跡の発掘調査



遺構の保護（軽量盛土材の利用）

さて、外大溝に架かる木橋から外郭南門へと進もう

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



右手に外大溝を見たところ



左手に外大溝を見たところ



これが外郭の櫓の機能を兼ねた南門(櫓門)

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで左手を見たところ/左前方には櫓が見える



同じく右手を見たところ/等間隔に櫓が並ぶ



振り返って外大溝に架かる木橋を見たところ/こちらが南方向



説明板がある



外郭南門

志波城の正門にあたる外郭南門は、五間一戸の壮大な構えで、掘立柱による檜門です。

発掘調査で解明した規模や構造と、古代の建物や古絵図より復元した門は、部材にヒバ材を用い、鐘鉦や斧などの古代の木工技術で仕上げています。



南門の遺構



南門の上階



外郭南辺建物配置図

こちらにも説明板がある



櫓の間隔は、当時の弓矢の射程距離から約60mおきになっていると云う

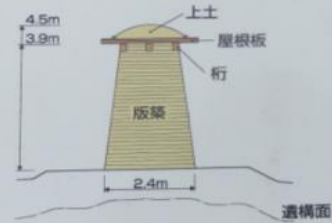
外郭築地塼

外郭の築地塼は、一辺840m、四方で3,360mにもおよぶ土塼で、軍事的緊張の中で造られました。

復元した築地塼は、発掘調査の成果をもとに古文書や古絵図を参考にしています。本体は古代の版築工法を用い、屋根はヒバ材の板を土で押さえた上土としています。



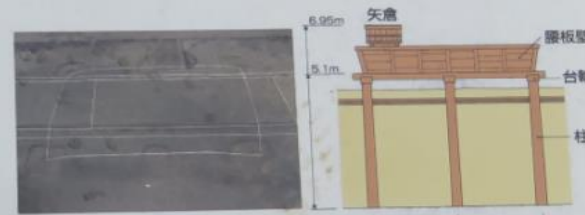
築地塼の遺構



櫓

物見や狙撃のための櫓は、当時の弓矢の射程距離を考慮して約60mおきに設置されていました。

復元した櫓は、柱はクリ材による皮むきの丸太で、上階はヒバ材で造っています。簧子張とした床には、矢を収めるための矢倉を設けています。



櫓の遺構

南門を横から見たところ/築地塀の手前にも空堀が設けられている



右手を見たところ



これが櫓（物見・狙撃）



さて、これは外郭南門を入り、南大路から政庁方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで左手を見たところ/やはり築地塀に沿って空堀が設けられている



同じく右手を見たところ/このエリアには志波城を警護する鎮兵の宿舎などがあったようだ



南門から、外大溝に架かる木橋方向を見たところ



説明板がある



1200~2000棟もあった竪穴建物/長期に派遣された鎮兵の宿舎や、武器や道具を修理する工房として使われていたらしい

たてあなたてもものいき 竪穴建物域

志波城内では、たくさんの竪穴建物（地面を掘って床をつくり、屋根をかけた建物）が見つかっています。その多くは、外郭築地塀内側の一町（約108m）幅に密集して建てられていました。発掘調査から、城内にはおよそ1200~2000棟の竪穴建物があったと考えられます。これらの竪穴建物は、坂東諸国（関東地方）・越国（北陸地方）・陸奥国南部（福島・宮城県）などから、長期に派遣された「鎮兵」（城柵の造営・維持や警備などをするための専門の兵）が駐留する兵舎や、武器や道具などを修理する工房として使われていたと考えられます。

今から約1300~1200年前の奈良・平安時代、東北地方各地に造営された城柵のなかでも、これほど多くの兵舎や工房が城内に建ち並んでいるものはなく、志波城の大きな特徴のひとつです。



外郭築地塀の内側に密集する竪穴建物（復元想像図）



外郭南辺東側 発掘調査全景写真（東から）



志波城跡の発掘調査成果図
■が竪穴建物が見つかった場所

いわゆる竪穴式住居



たてあなたてものあと ふくげん
竪穴建物跡の復元

この3棟の竪穴建物(SI438,439,440)は、発掘調査で見つかった約1200年前の人たちが作った竪穴建物の跡をうめもどし、その真上に同じ規模で復元したものです。SI438は建築中の様子、SI439,440は生活していた様子を復元しました。

発掘調査では、床から屋根を支える柱の跡が見つかりませんでした。このことから、柱はなく、穴の外に又首⁽¹⁾を組んで、その上に棟木⁽²⁾をわたし、垂木⁽³⁾をかけ、周辺に生えていたススキなどの茅をふいていたものと考えました。鎮兵が派遣期間中に使用した簡便なつくりの兵舎建物だったのでしょう。

- (1) 又首 二つの部材を逆V字型に組み合わせた構造。合掌組。
- (2) 棟木 屋根の頂部に横に渡す部材。
- (3) 垂木 棟木から斜めにわたす屋根をつくる部材。



SI438



SI440



SI439



SI439



SI440

復元検討模型

屋根の構造などは、模型をつかって検討しました。

発掘調査で見つかった竪穴建物

こんな塩梅



こちらは完成形のようなだ/説明板もある



イヤー、平安時代でも一般人は竪穴式だったんだね！

たてあなでもの 竪穴建物内での暮らし

「たてあな建物」は、縄文時代から古代にかけて、もっとも多く作られた一般的な建物の形です。

地面を掘り下げて床をつくり、屋根をかけた半地下式の建物です。東日本でも、お米を食べることが一般的になる頃には、壁際に煮炊きのためのカマドが作り付けられました。カマドの煙は、トンネル状または溝状の煙道をとおって外にでました。発掘調査や民俗事例から、屋根は茅や木の皮、土などで葺かれていたことがわかっています。

志波城内の竪穴建物は鎮兵の兵舎や工房として使われ、数人の同郷の兵がここで共同生活を営んでいたことでしょう。発掘調査では、彼らが残した鉄製の武器や農具、工具、生活道具である土器などが出土しました。



竪穴建物とカマド構造想像図



復元した竪穴建物の発掘調査で出土した土器、磁石



鉄斧

鉄釘

鉄鎌

刀子(小刀)

農工具



鉄銃

武器



【佐野】の墨書土器
出土品

出土鉄製品

これは南大路を少し進んで、政庁南門方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



更に進むと、前方が政庁南門



そこで左手を見たところ/このエリアは南西官衙域



同じく右手を見たところ/このエリアは南東官衙域/前方に見える建物は復元された官衙建物(展示施設として利用されている)



説明板がある



政庁 — 重要な儀式空間 —

政庁は、土を突き固めて作った塙(築地塙)で150m四方を囲まれた城内で最も重要な場所でした。内部には地面に穴を掘って柱を建てた建物(掘立柱建物)が建てられていました。四方には門があり、正門である南門の内側には、門の外から中が見えないように目隠し塙が設けられていました。

中心部には、正殿と東脇殿・西脇殿が広場を囲むように配置され、広場では政務にかかわる儀式や、饗給と呼ばれた蝦夷をもてなす儀式などが行われていました。また、このほかにも政務の場や倉庫として使われていた建物も建っていました。

官衙 — 志波城の実務エリア

政庁の周囲には官衙建物がありました。これらの建物では、役人たちが政庁で行われる儀式の準備、日常的な維持管理、兵士などへの禄(給料のようなもの)の支給、蝦夷の記録、陸奥国の行政の役所である国府多賀城や、防衛をつかさどる鎮守府胆沢城などへの物資の中継、東北部の経営計画や遠征計画の立案などの、様々な仕事に従事していたと考えられます。



政庁・官衙跡現況



政庁・官衙跡復元想定図

■政庁南門と築地塙の復元過程

- 発掘調査の結果、政庁南門の柱の位置や規模が判明
- 現存する奈良時代の門や古絵図から形態を考察
 - 法隆寺東大門 (株式会社小学館 写真提供)
 - 堀川夜討絵図 (住吉如庵 画・17世紀・東京国立博物館蔵) Image: TNM Image Archives. Source: <http://TnmArchives.jp/>
- 当時の工法で復元
 - 当時と同じ道具を使って木材を加工
 - 築地塙は、当時と同じく、土を薄く突き固める版築技法で復元



これが政庁南門/手前には空堀が設けられている/右手に説明板がある

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)





政庁南門

ここが政庁南門右手前にある復元官衙建物を活用した展示施設

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



内部の様子



志波城の中心には何かあったのでしょうか

志波城の 政庁と 官衙

志波城跡は、今から約千二百年前の、
とても大きく特別な役割があったところで、
政庁と官衙はその中心となる
重要な場所です。大きな建物が並び、
多くの役人がはたらいていました。

陸奥国志波郡の城跡「志波城」

志波城は、平安時代初期、延暦
二二年（八〇三）に、朝廷が坂上田
村麻呂に命じて造営した。古代陸
奥国東北の城郭で、蝦夷と呼ばれ
ていた東北地方の人々を抑えるた
めに置かれた行政施設として、
城中央には方形に区画された政
庁があり、大きな建物が整然と並
んでいました。そして政庁の周り
には、役人が日々の仕事を行う建
物群「官衙」がありました。



上空から見た志波城跡（2007年撮影）



朝陽する城門



政庁・官衙東三脚配置図



政庁での儀式

大規模だった志波城政庁

政庁の大きさは一辺一五〇メー
トルあり、鎮守府郡城（郡州）
を上回り、国府多賀城（宮城郡多賀
城跡）に匹敵し、最前線としての役
割が重要なことを示しています。
政庁の四辺には築地塙（土層）があ
がり、各辺中央には門がありました。
政庁南門は創建時から八脚門で、
北門と東西門はそれぞれ八脚門と
四脚門に建て替えられています。
内部には、中央となる正殿と東西
脇殿が二字形に配置され、中央の
広場では年中行事や、朝貢する蝦
夷に儀や物を与えてもなす聖婚
の儀式などが行われていたと考え
られます。



政庁周囲に種ちぶ官衙

政庁の周りには、官衙の建物や
付属する工場が見えています。
特に南東官衙では、広場を囲むよ
うに根立柱建物が配置され、中央
的な施設と考えられます。このほ
か南西官衙と東官衙も、それぞれ
役割をもつて機能していたようす。
役人たちは、城郭の維持や物資の
中継、儀式の準備、蝦夷への対応
といった仕事を行っていました。
考えられます。



志波城の配置図



朝貢する蝦夷



南上空から見た志波城跡 (2007年撮影)

陸奥国最北の城柵「志波城」
 志波城は、平安時代初め、延暦二二年(八〇三)に、朝廷が坂上田村麻呂に命じて造営した、古代陸奥国最北の城柵で、蝦夷と呼ばれていた東北地方の人々を治めるために置かれた行政府(役所)でした。城内中央には方形に区画された政庁があり、大きな建物が整然と並んでいました。そして政庁の周りには、役人が日々の仕事を行う建物群(官衙)がありました。



政庁・官衙復元鳥瞰図

古代の技術が現代によみがえる

政府と
官衙の
建物

「建物復元の考え方」図面の残っていない古代の建物の復元にあたっては、発掘調査により発見された柱の痕跡から柱配置を検討し、土層構造を推定していきます。志波城は陸奥国の最北にありましたが、都の朝廷が移し建造したもので、そのことから、基本的にその技術は伝承する同時代の古建築に準じていたと考えました。そして結果物なども参照しながら、古代の技術にならって復元設計を行いました。

政庁南門の復元



政庁南門復元
（コンピュータグラフィックス）



政庁南門復元設計図



政庁南門跡発掘調査

政庁南門跡発掘調査平面図

南辺陸奥郡中央に位置する、初行3間、葺間2間の12本柱の東西棟建物で、三層一戸の八脚門と考えました。柱は抜き取られていますが、掘方という方形の大きな穴に遺構柱を埋める、竪立柱としていたことがわかりました。政庁が儀式的・象徴的空間と想定されることから、御風の構造であったと考え、和物を用い、葺間は反りのある二料の格天井としました。同種類の門である法隆寺東大門を参考に、表側の扉は同時代の古建築を参考にしました。

政庁正殿の復元検討



政庁正殿復元コンピュータグラフィックス



政庁正殿復元検討図



政庁正殿跡発掘調査

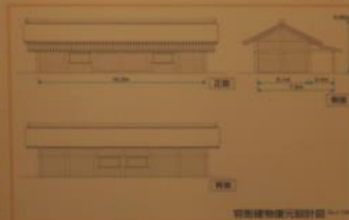
政庁正殿跡発掘調査平面図

官庁のほぼ中央に位置する、初行5間、葺間2間の舟倉(建物の中心部分)の西側に縁がめぐる、特殊な構造の建物と考えました。柱は抜き取られていますが、大きな掘方をもつ城内最大規模の竪立柱建物であり、象徴的建物として床の高い建物であったと推定しました。政庁南門と同様に和物を用い、葺間は格天井・土壁・透子型の建物と想定し、コンピュータグラフィックスにより、当時の姿の再現を試みました。

官衙建物の復元と活用



官衙建物復元



官衙建物復元設計図



官衙建物跡(58227)発掘調査

官衙建物跡(58227)発掘調査平面図

南東官衙に見出された58227遺物は、初行6間、葺間2間で1間の舟倉をもつ船倉柱の東西棟建物で、その規模から南東官衙の中心的建物と考えました。外観構造は復元考案による推定とし、活用のためのガイダンス機能を加えて整備しました。官庁内とは異なる実務官衙としての格を考え、土間・格天井・舟倉とし、葺間は一軒の格天井と推定しました。床は格天井とし、展示室と管理室を設けました。

官衙建物復元工程

- 1 発掘調査
- 2 復元設計
- 3 建て方
- 4 築き加え作り
- 5 展示室
- 6 管理室

これは政庁周辺の配置図/150メートル四方の政庁の中には、正殿と東脇殿・西脇殿が広場を囲むように配置されていた/広場では政務に関わる儀式や、饗給と呼ばれるエミシをもてなす儀式などが行われていたと云う



さて、政庁内に入ると、ここが正殿のあった所

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



こちらは東脇殿跡



こちらは西脇殿跡



こちらは政庁東門



アップで見たところ



こちらは政庁西門



アップで見たところ



前方は政庁北門のあった所/杭で柱の位置が示されている



ここは政庁北門の外側

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



そこで左手を見たところ/築地塀に沿って空堀が設けられている



同じく、右手を見たところ



振り返って政庁南門方向を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



右手を見ると、このように築地塀の両側に空堀が設けられている/左手が政庁内



政庁内側の空堀をアップで見るところ



振り返って、同じく政庁内側の空堀をアップで見たところ



これは政庁内北東の隅で政庁エリア全体を見たところ

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



政庁建物が表示されている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



こちらにも政庁建物が表示されている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



こんな塩梅



これは政庁西門を外側から見たところ/やはり手前に空堀が設けられている

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



ここは発掘された遺物などが展示されている志波城古代公園案内所

[\(クリックしてビデオを見る\)](#)



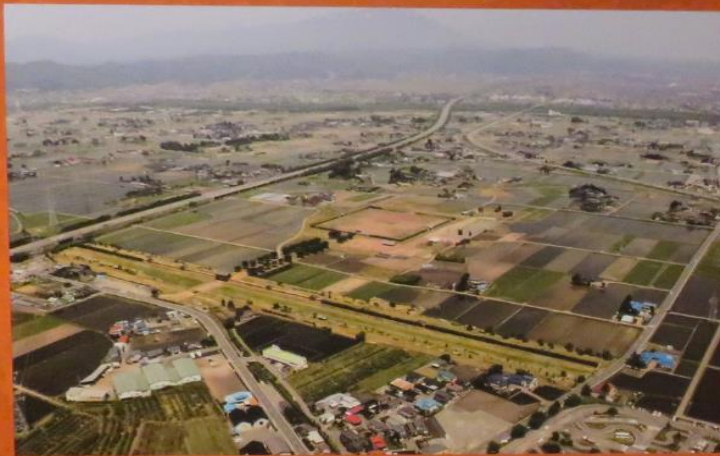
志波城のあらまし

志波城は、約一二〇〇年前の平安時代初めに、天皇を中心とした政府が、東北地方の統治経営のために作った「城柵」とよばれる役所です。

陸奥国（東北地方東側）に十数か所作られた城柵のうち、志波城はもともと北に位置し、その規模は陸奥国の中心である国府多賀城に匹敵しました。外側は一辺九二八mの外大溝、一辺八四〇mの土を突き固めた土塀（築地塀）で正方形に囲まれ、門と櫓が建っていました。



官衙建物 個人達が出来るしい内通所
が動にきわりないでね



【志波城の全景】

サッカーのピッチが100面以上入るほど広大です。



【志波城復元想像図】

城内中央に儀式を行う「政庁」、その周囲に役所の実務を行う「官衙」、外郭築地塀内側には兵舎や工房と考えられる竪穴建物が帯状に密集していました。



外郭の規模(1町=約108m)

【城柵の外郭規模の比較】

志波城は国府級の最大規模。

北東北では774年から811年にかけて、いわゆる「三十八年戦争」が行われ、北上盆地のエミシは朝廷の統治下におかれることとなる/その拠点として造られたのが、胆沢城や志波城であった



【坂上田村麻呂像】
(大阪府 長賢寺蔵)



【桓武天皇像】
(滋賀県 延暦寺蔵)



【出羽国府秋田城復元外郭東門】
(秋田市教育委員会)

- 7世紀
- 8世紀前半
- 8世紀後半
- 9世紀前半



【古代東北の城柵の分布】

古代の東北地方は東側が陸奥国、西側が出羽国と呼ばれ、中心となる役所「国府」がおかれました。



【陸奥国府多賀城政府模型】
(東北歴史博物館)

天皇を中心とした政府が国を治めていた約一三〇〇〜一二〇〇年前の古代、奈良、平安時代。東北北部は国の外にあり、人々は「蝦夷」とよばれていました。政府は東北各地に城柵をつくり蝦夷と交流を深め、国を広げていきました。しかし、宝亀五年(七七四年)以降、宮城県北部から岩手県南部の蝦夷は政府と対立。長く争いの時代が続きました。「桓武天皇」に東北の最高責任者に任命された「坂上田村麻呂」は、その争いを収め、延暦二二年(八〇三年)、さらに北の統治を目指し、政府に協力的だった「アヌシキ」率いる志波の蝦夷の地に、巨大な志波城を造営したと考えられます。

- ・803年:志波城造営
- ・804年:斯波(志波)城と胆沢郡の間に1駅を置く
- ・805年:徳政相論
(軍事(外蝦夷)と造作(平安京造営)が停廃)
- ・811年:和我・韓経・斯波の3郡建置
- ・811年:爾羅休・幣伊の戦い(38年戦争終結)
- ・811年:志波城廃城の建議
(文室経高孫ふんやのわたまる)
- ・812年:徳丹城造営
- ・814年:胆沢・徳丹2城に糧と塩を置く

がめんさまわらないでね

志波城はなぜつくられた?

志波城の役人と兵

志波城内の中央には、城司が政治や儀式を行う「政庁」、その周囲には役人が儀式準備や記録などの仕事をする「官衙」がありました。政庁では、朝貢(特産品を持ってあいさつに来ること)する蝦夷たちを「饗給」という宴会でもてなし、位階や品物などを授け、交流を深めました。

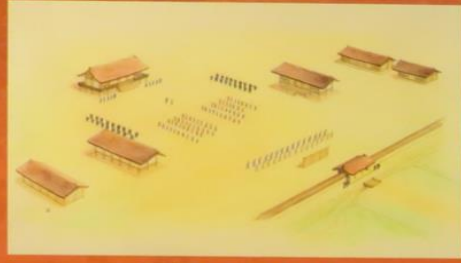
外郭築地塀の内側には、竪穴建物が密集して建てられ、兵舎などに使われています。志波城の兵は、関東、北陸、東北部から来た「鎮兵」で、守衛や修理、交通路の警備などを行っていたと考えられます。



がめんにかわらぬいでね



【政庁正殿復元 CG】



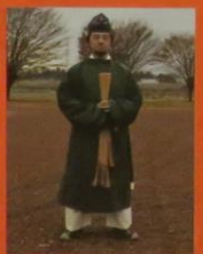
【政庁の儀式の想像図】
朝貢してきた蝦夷との儀式



【「佐旂」墨書土器】
兵の出身地を表すと考えられる。
(佐旂は新潟県の地名)



【兵の姿(推定)】



【役人の姿(推定)】

発掘と復元のあゆみ

その昔、志波城は古代の文献記録には登場するものの、その場所がわからない幻の城柵の一つでした。今の志波城の場所は、江戸時代の絵図には「八幡殿陣場跡」として描かれ、長らく平安時代末の前九年合戦の源氏の陣跡と言われてきました。一九七六年に東北自動車道建設のための発掘調査で築地塀跡や櫓跡が発見されて以降、学術調査がすすめられ、志波城の跡であることが明らかになりました。

現在では、発掘調査成果をもとに復元整備され、「いにしへの風」にあえる志波城古代公園として親しまれています。



がめんにかおらぬいでお

西暦	志波城のあゆみ
一九七六年	東北自動車道発掘調査開始（県教委）
一九七七年	遺跡範囲確認調査開始（市教委）
一九八四年	国指定史跡となる
一九九三年	外郭南辺復元工事開始（第Ⅰ期）
一九九七年	外郭南門・築地塀・櫓復元完成 「志波城古代公園」開園
二〇〇一年	政庁官衙域復元工事開始（第Ⅱ期）
二〇〇七年	政庁南門・東西門・築地塀・官衙建物復元完成
二〇一一年	外郭東辺・南辺整備工事開始（第Ⅲ期）
二〇一五年	竪穴建物（兵舎）復元・史跡案内所完成



【子どもたちと志波城マスコットしわまるくん】



【発掘調査で見つかった外郭南門跡】



【南部領惣絵図(正保4(1647)年)】(もりおか歴史文化館蔵)



【整備された志波城の政庁】

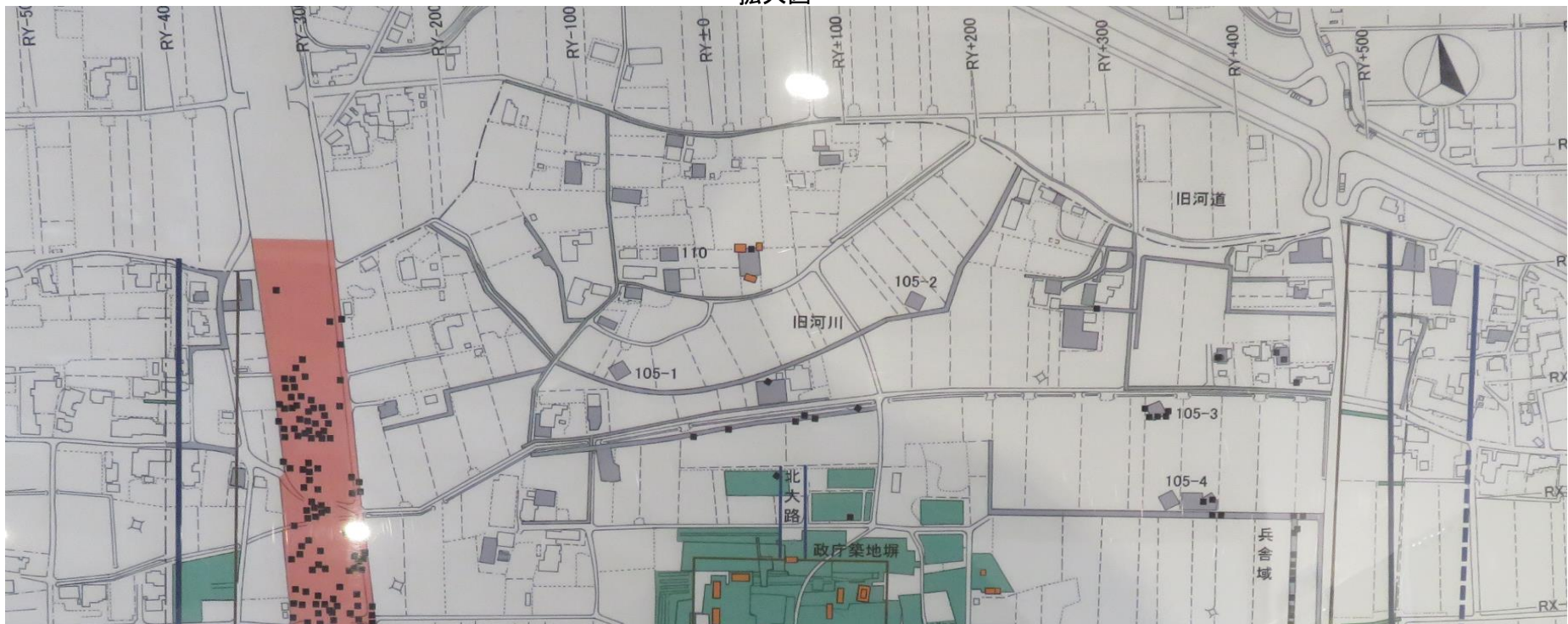


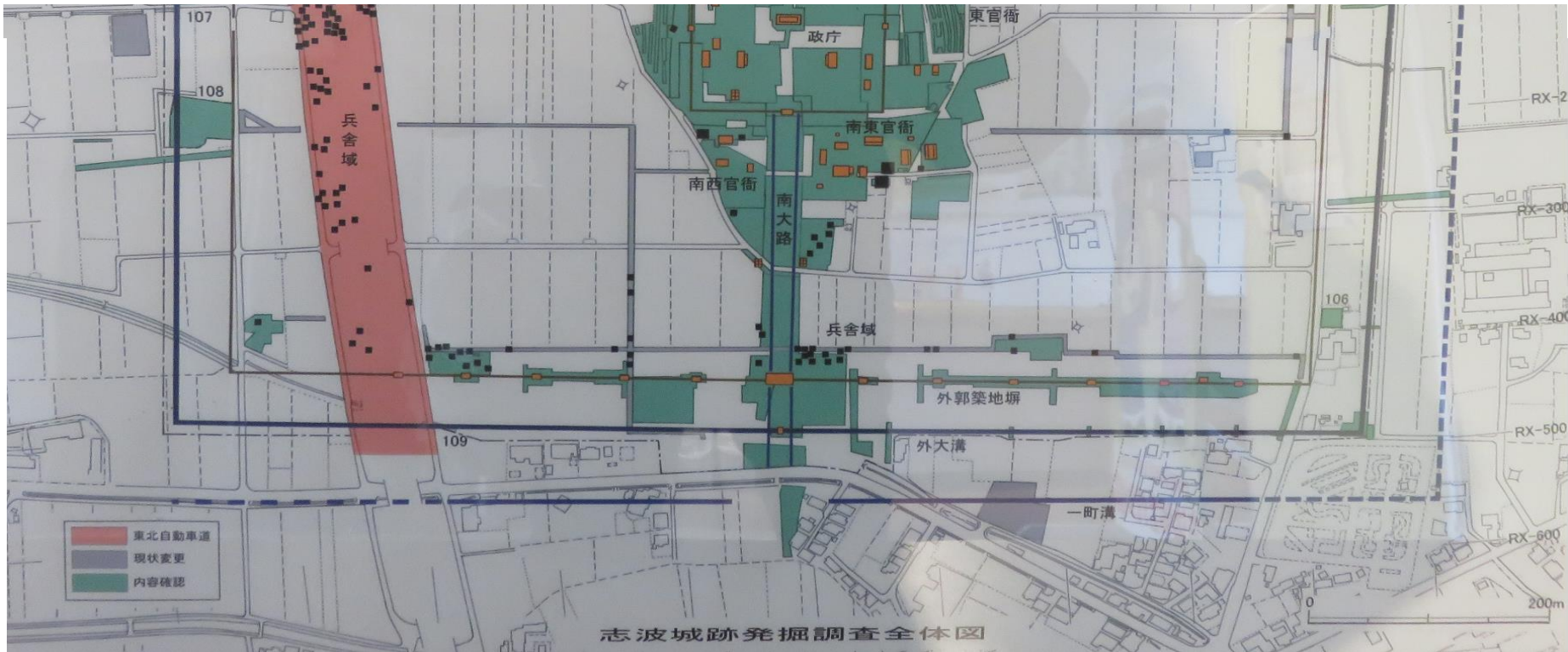
【1976年頃の発掘調査の様子】

志波城跡発掘調査全体図



拡大図





志波城跡発掘調査全体図

様々な遺物が出土している



左側から見たところ



右側から見たところ



参考ホームページ

<http://morioka-kankou.com/shiwajo.html>

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~mononofu/shiwazyou.html>

<https://akiou.wordpress.com/2014/11/15/shiwajo/>

<https://akiou.wordpress.com/2014/11/15/shiwajo-p2/>

<https://www.cafe-dragon.net/trip/castle/shiwa.html>

https://blog.goo.ne.jp/hi-sann_001/e/d5e5f36b3364f66d0d601cec01f38103

<https://sirotabi.com/8182/>

<https://jyo-sai.com/castle-report/jyosaku-cat/shiwajyo1705/>

<http://usagitabi.g1.xrea.com/shiwaio.html>

